

雅名其一 （註） フランス文學翻譯家。明治二十一年一月十一日秋田縣角館生れ、昭和二十七年四月二日歿（八八歳）（九三）。筆名しひゆそのじ、打翁。早稲田大學文科中退。アメリカを経、フランスに渡り、エリゼ・ルクリエル師事。第一次大戦中滞在し、留學中の吉江高松と親交。歸朝後早稲田高等學院のフランス語教師。無政府主義運動にも加はり大杉榮とも親交、その死後フアールブル「昆蟲記」の續巻を譯した。昭和二十二年フランス人の妻子を追つて渡佛、妻子共々先師ルクリエル家へ寄宿。

譯書に、『ウーシエニイ・グランデロ』（大正十二年二月十八日新潮社）『バルザック傑作叢書』、ゲエ・ヴェ・ルクロ著『科學の詩人』フアールの生涯』（大正十四年十月十五日叢文閣）、エミール・ゾラ作『野火』（大正十四年十二月二十七日エルノス・シリーブル）、アンリ・ナブル著『昆蟲記・4ー昆蟲の本能と習性の研究』（大正十五年九月十四日叢文閣）、エルネスト・ペロシオン作『ホエヌ』（大正十五年十一月十五日新潮社）、オウギユスト・ブオレル著『蟻の社會』（創成の巻）』（大正十五年十一月十五日叢文閣）、アンリ・ナブル著『昆蟲記』（2・昭和十一年五月十三日、3・六月十日、4・七月五日叢文閣）等。

